

東京ガス通信

2010秋冬号

株主の皆さまへ

2011年3月期 第2四半期
(2010年4月1日～2010年9月30日)

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

1 決算ハイライト

2 トップメッセージ

5 特集

ガスの魅力

～「エコ」「涼しい」
「うまい」、ガス厨房～

～「食育」、料理教室
を通じた普及活動～

9 TOKYO GAS NEWS

中央幹線Ⅱ期の建設工
事完了、中央幹線全線
が完成

「扇島パワーステー
ション2号機」の
営業運転開始

11 連結決算のご報告

14 会社情報



決算ハイライト

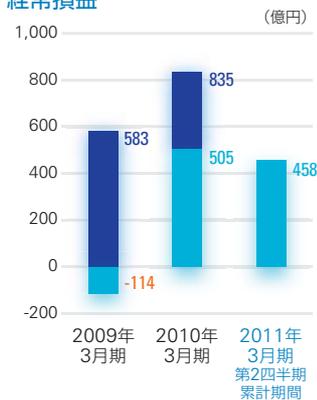
売上高は前年同期比11.0%増ながら、経常利益は同9.3%減益

2011年3月期第2四半期累計期間（上半期）のガス販売量は、気温影響及び緩やかな景気回復を背景とした既存設備の稼働増等により12.4%増加しました。ガス販売量が増加したこと等により、当上半期の売上高は前年同期比11.0%増の7,013億円となりました。一方、ガス原材料費が原油高の影響により760億円増加したこと等により、経常利益は同9.3%減の458億円、四半期純利益は同21.9%減の255億円となりました。

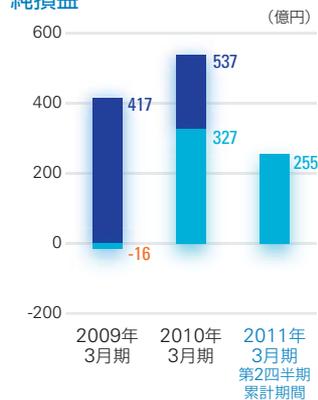
売上高



経常損益



純損益



(ご参考) 東京ガス個別 ガス販売量月次データ (2010年4月～9月)

ガス販売量は、各用途で対前年増加となりました。家庭用は夏場の高気温の影響はあったものの年度初めの低気温の影響が大きく、給湯需要が増加しました。商業用その他は、夏場の高気温の影響により空調需要が増加しました。工業用需要は既設設備の稼働増などにより増加しました。

用途別の対前年伸び率

(単月、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	期間合計
家庭用	16.1	15.1	6.1	▲5.2	▲12.4	▲18.5	4.4
商業用その他	4.4	9.5	▲7.1	3.2	8.5	15.3	5.9
工業用	5.3	14.5	13.6	5.3	1.6	5.4	7.3
卸供給	19.1	13.1	3.2	6.3	7.9	9.3	9.7
合計	10.4	13.4	5.6	3.2	2.6	5.0	6.7

トップメッセージ

環境・エネルギー政策を追い風に、 着実に販売量を増加させていきます

代表取締役社長 おかもと つよし
岡本 毅



事業環境と経営方針

春先には企業収益の改善や設備投資の持ち直しが見られた国内経済ですが、足元では海外経済の減速傾向等から、これまで景気回復を支えてきたアジア向けを中心とする輸出が鈍化しているうえ、5月以降、円高が急速に進み、先行き不透明感の強い状況となっています。

しかしながら、企業の環境意識の高まりを背景にした中長期的な天然ガスシフトは確実な流れであることから、潜在需要の大きい北関東エリアを中心にパイプラインの延伸やLNG受入基地の新設などに取り組み、将来の需要拡大に対応する布石を着実に打っています。

上半期の業績

当上半期は、鉄鋼・非鉄金属・発電等の分野を中心に工業用ガス販売量が回復したことに加え、春先は低気温により家庭用ガス販売

量も増加しました。また、夏場の猛暑は家庭用の給湯需要を減少させましたが、ビル空調用を中心に商業用その他のガス販売量が堅調に推移したこともあり、上半期の連結ガス販売量は前年同期比12.4%の増加となりました。

一方、ガス原材料費が原油高の影響を受けて大幅に増加したのに加え、原料費調整制度に基づくガス料金への反映が下半期にずれ込むためスライドタイムラグが大きく影響し、上半期の業績は増収減益となりました。

通期業績

増収増益を予想

低炭素社会の実現に向けて、環境性、供給安定性、利便性に優れた天然ガスの需要は着実に高まっており、通期の連結ガス販売量を前期比7.5%増の146億8千万m³と想定しています。

これにより、通期売上高が前年同期と比べ

トップメッセージ

7.7%増の1兆5,250億円となる見通しです。原材料費高騰によるスライドタイムラグによりガス粗利は減少しますが、年金資産運用の改善に伴う退職給付数理計算上の差異負担の減少が見込まれ、経常利益は前期比34.1%増の1,120億円、当期純利益は同26.4%増の680億円を予想しています。

(単位：億円)	2010年 3月期	2011年 3月期 見通し	増減率 (%)
ガス販売量 (億m ³)	136.7	146.8	+7.5
売上高	14,157	15,250	+7.7
営業利益	852	1,160	+36.1
経常利益	835	1,120	+34.1
当期純利益	537	680	+26.4

(2010年10月以降の原油価格80ドル/バーレル、
為替レート85円/ドルを前提に算定)

中期経営計画の進捗状況

地域密着型営業を推進

東京ガスの営業拠点である63の「東京ガスライフバル」は、1,000万件を超えるお客さまの身近なパートナーとして、多様化するお客さまニーズを踏まえた地域密着型営業を展開しています。特に環境・省エネ意識の高まりを商機と捉え、太陽光発電を組み合わせた家庭用燃料電池「エネファーム」の販売促進や太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO (ソラ

モ)」の普及などに注力しています。

業務用ガス厨房を強化

また、業務用（商業用その他）でも、電化對抗策として国内最大の体験型業務用厨房ショールーム「厨BO!SHIODOME (チューボ汐留)」をオープンさせました（2010年10月5日）。輻射熱や排気の拡散で厨房内が暑くなるのを抑える機器「涼厨^{すずちゅう}®」の製品群を揃えています。ガスを使った料理のおいしさとともにガス厨房ならではの快適性や省エネ性を体感していただき、厨房営業の強化を図ります。

総合エネルギー事業の拡充

当社が中期経営計画で掲げている「LNGバリューチェーンの強化」としては、首都圏を囲む環状幹線の中央を南北に縦断する中央幹線を5月に完成させました。これにより、環状幹線の供給安定性のさらなる向上に加え、需要の増加が見込まれる北関東エリアへの供給能力を向上させることが可能となりました。

さらに、電力事業の拡充として、7月に大型発電所「扇島パワーステーション」の2号機（出力約40万kW）の営業運転を開始しました。これにより、東京ガスグループの発電事業

は当初計画どおり130万kWの能力となり、総合エネルギー事業推進のための事業体制が整いました。電力事業としても今年度、通期の営業利益目標を達成できる見通しです。

「天然ガスシフト」を追い風に

天然ガスは化石燃料の中で最も燃焼時のCO₂排出量が少なく、例えば重油から天然ガスへの燃料転換によって、CO₂排出量を25%～55%削減することができます。政府はこの6月に「エネルギー基本計画」を閣議決定し、その中で天然ガスの環境メリットを背景に、今後天然ガスの利用を拡大していく「天然ガスシフト」の方針を明確に掲げました。東京ガスグループは、こうした低炭素社会を見据えたエネルギー政策を追い風に、天然ガスをコアとした総合エネルギー事業の進化・発展を目指し、既述のような各施策を着実に実行しています。

資金調達方針

当社では安定した事業運営と良好な財務体質を背景に、外部資金を必要とする際には資本市場において有利な条件で社債を発行することが可能です。この9月には、第32回無担



保社債（30年債、利率2.135%）と、第33回無担保社債（10年債、利率1.203%）をそれぞれ200億円ずつ発行し、設備投資や社債・コマーシャルペーパー（CP）の償還など年度の必要資金に充てています。特に第32回無担保社債は当社初の30年債であり、超長期の安定的な資金確保に寄与するものです。

株主還元

年間配当9円を継続予定

株主の皆さまへの還元につきましては、中間配当を1株当たり4円50銭（前年同期比50銭増）とさせていただきます。配当・自社株消却を合わせた「総分配性向6割」という従来からの基本方針に従い、年間配当は前期同様、1株当たり9円配当を継続する予定です。

東京ガスグループでは、今後とも安定したキャッシュ・フローの創出をベースに資本効率を高め、株主価値を高めていきます。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集 ガスの魅力

～「エコ」「涼しい」「うまい」、ガス厨房～

1000万件を超える当社のお客さまのうち、業務用厨房をご利用いただいているお客さまは約20万件に達します。レストランや学校・病院などの給食施設などで使われているガス厨房。その調理機器は今大きく進化しています。今回の特集では、料理のプロが選ぶ「ガス厨房」の良さを皆さまにお伝えします。

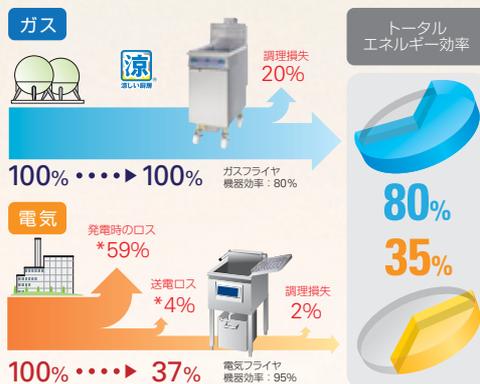
業務用のガス厨房、その特長は「エコ厨」^{すずちゅう}「涼厨[®]」「うま厨」をキーワードとして語るができます。



エコロジーで
エコノミー！

CO₂削減が国家の重要なミッションである中、毎日多くのエネルギーを使う厨房分野でも、エコロジーに対する意識が重要です。例えばフライヤ（揚げ物機）のエネルギー効率はガスが80%、電気が95%。一見、電気の方が省エネに思えます。しかし、製造所や発電所から利用者に届くまでのトータルエネルギー効率を見ると、発電時のエネルギーロスや送電ロスの影響で、電力のトータルエネルギー効率は約35%になってしまいます。一方、ガスフライヤの場合、製造や輸送に伴うエネルギーロスはほとんどなく、機器効率80%がそ

ガスと電気のトータルエネルギー効率の比較



* 出典：平成17年度改正省エネ法の解説 工場・事業場編
(財)省エネルギーセンター発行

のままトータルエネルギー効率となります。

つまり、ガスフライヤの省エネ貢献度は電気フライヤの2倍以上と言えます。そのうえ、機器本体のインシャルコストも、日々のランニングコストも、ガス厨房は経済的です。

すずちゅう
「涼厨®」
Cool

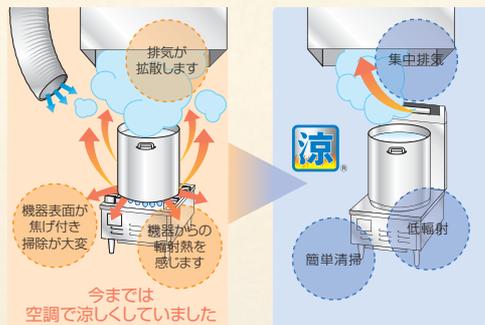
夏でも「涼しい」 厨房環境！

プロの料理人の方に当社独自のアンケートを行った結果、厨房に対する不満の第一位は、「厨房が暑い」ことでした。毎日の職場ですから、快適な環境でこそ最高の料理を提供することができると、当社は考えます。

「涼厨®」は、空調を増設せずに快適な厨房環境を実現します。そもそも厨房の暑さは、機器表面からの輻射熱、調理排気、燃焼排気が主な原因です。

そこで「涼厨®」は、空調の冷気に頼るのではなく、機器自体の発熱量を抑えます。また、集中排気により熱い排気が室内に拡散せず、厨房室温の上昇を防ぐので、空調の負荷も低

「涼厨®」が涼しい理由



減することができ、環境にも空調のランニングコスト削減にも貢献します。また、機器表面が熱くならないので、やけどの心配もありません。煮こぼれなどによる焦げ付きも起きにくく、大仕事であった掃除の手間や時間を、大幅に削減することができます。「涼厨®」はこれまでのガス厨房を大幅に改善した「新しい」厨房です。

「涼厨®」は大阪ガス（株）の登録商標です。

ちゅう
うま厨
Delicious

うまみを 逃がさない！

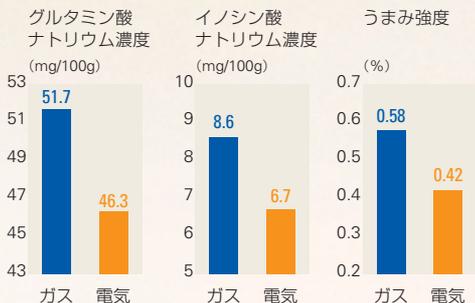
プロの料理人にとって調理場の環境やコストはもちろん、「おいしい料理をお客さまに提供すること」こそが一番大切です。ガスの炎でなければ生み出せない「おいしさ」があります。

ガス厨房でつくる料理の「うまさ」の秘密は炎にあります。炎が鍋底と側面を包み込むように加熱するため、外側から内側に向けて速く大きな対流を発生させ、味がしっかりと染み込みます。また、鍋底全体が短時間で均一に高温になるので、食材がもつ水分が必要以上に失われず、炒め油の吸収も抑えられます。火から遠ざけたり近づけたり、前後にあおって使えるのもIHクッキングヒーターと

の大きな違いです。プロの料理人の腕を最大限引き出すのがガス調理器です。ガスによる料理の「うまさ」は単に感覚的なものにはとどまらず、データでも裏付けられています。下表でもわかるとおり、ガスによるうまみ強度はIH調理器によるものを20%以上上回ったという実験データもあります。ガスの料理がおいしいのは「本当」なのです。

うまみ成分の比較

うまみ強度が「ガス：IH=100：72」となった。
 値の差が21%以上あれば、人間はうまみの違いを感じられる



出典：IH・ガス兼用土鍋による鶏・白菜・ネギ調理後のスープの分析 同志社女子大学真部教授監修による実験
 分析：日本食品分析センター

東京ガス業務用厨房ショールーム 「厨BO!SHIODOME」オープン

東京ガスは、体験型業務用厨房ショールーム「厨BO!SHIODOME（チューボ汐留）」を10月5日にオープンしました。床面積約1,100m²で、体験型業務用ショールームとしては国内最大となります。「涼厨^{すずちゆう}」をはじめ、最新の厨房機器や換気設備、衛生管理手法等をご紹介します、調理体験やセミナーを開催しています。



東京ガス株式会社
 都市エネルギー事業部
 法人営業第二部
 最適厨房推進チーム

小池 由佳

VOICE ひとこと

ガスの炎は、昔から料理と切っても切り離せないものです。昔からあるものですが、ガス調理機器は年々進化しています。そのひとつが涼しい厨房機器「涼厨」です。ガスの炎の良さを活かしつつ、業務用厨房で働く方々の一番の悩みであった「暑さ」を解決した画期的な機器シリーズ「涼厨」は、いま、全国各地でご採用が広がっています。

～「食育」、料理教室を通じた普及活動～



ガスによる厨房は、ご家庭でも活躍しています。ピットコンロや安心機能のSiセンサーなどご家庭でおいしい料理を便利にそして安全に楽しんでいただけるガス機器の開発・普及に注力しています。東京ガスでは製品の提供にとどまらず、「食育」や料理教室の実施などを通じた普及活動にも取り組んでいます。

「食育」

食や食文化を通じて学ぶこと、これが「食育」です。当社では1992年より食育活動を実施し、子どもが1人で調理できる技術を身につける「食の自立」と、おいしいものをおいしいとわかる感性を養う「五感の育成」を目指しています。親子料理教室などさまざまな形態の料理教室やイベントを通じ、子どもたちが料理や食文化に積極的に触れることで成長し、ガスを通じた豊かな食生活を楽しめるよう、当社は切望しています。



「食育」に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<http://home.tokyo-gas.co.jp/shoku/shokuiku/index.html>

料理教室

当社は、食文化の発展のため、さまざまな提案をしています。そのひとつが料理教室で、当社では現在25箇所で開催しています。エコ・クッキングなど自社で提供する料理教室に加え、既存の料理教室との連携も重視しています。国内最多112拠点を有するABC Cooking Studioと業務提携し、ガスの調理機器を活用した料理教室を展開していく試みも、そのひとつです。今後は共同でレシピを開発していくなど、家庭におけるガスのさらなる普及を目指します。



料理教室の詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

<http://www.tg-cooking.jp/>

TOKYO GAS NEWS

東京ガス ニュース

5月7日

中央幹線Ⅱ期の建設工事を完了、 中央幹線全線が完成

「中央幹線Ⅱ期」の建設工事を完了しました。これにより、2009年1月に供用を開始した「中央幹線Ⅰ期」と合わせ、中央幹線全線が完成しました。中央幹線は、首都圏を囲む東京ガスの環状の幹線網（環状幹線）の中央を南北に縦断しながら、東京湾岸に位置する都市ガス製造工場と北関東エリアを連絡する幹線です。東京ガスの需要の多くを担う環状幹線の供給安定性のさらなる向上に加え、需要の増加が今後も見込まれる北関東エリアへの供給能力の向上にも寄与します。



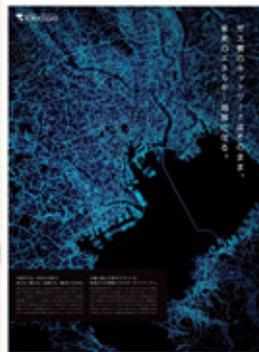
5月

東京ガステレビCMが「広告電通賞」を受賞

第63回「広告電通賞」にて当社テレビCM「家族の絆・お父さんのチャーハン篇」が「産業・企業部門最優秀賞」を受賞しました。また新聞広告「ガス管のネットワークはそのまま、未来のエネルギー地図になる。」が「産業部門優秀賞」を受賞しました。



「家族の絆・お父さんのチャーハン篇」



「ガス管のネットワークはそのまま、
未来のエネルギー地図になる。」

東京ガスの最新ニュースは、ホームページをご覧ください。

 <http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/list.html>



営業運転を開始した2号機（手前側）

7月12日

「扇島パワーステーション2号機」 の営業運転開始

当社と昭和シェル石油（株）が出資した（株）扇島パワーは、大型発電所「扇島パワーステーション」の2号機（出力約40万kW）を完成させ、営業運転を開始しました。3月の1号機、7月の2号機の営業運転開始により、扇島パワーは、天然ガスを利用した安定的な電力供給に貢献するとともに、省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクル*を採用し、効率的なエネルギーの供給を実現します。

*ガスタービンコンバインドサイクル：内燃機関であるガスタービンの軸出力により発電するとともに、その高温の排気ガスを使って蒸気を発生し、蒸気タービンでも発電する省エネルギー性に優れた発電方式。

9月～10月

株主さま施設見学会の実施

株主の皆さまに当社グループの事業運営について、さらにご理解を深めていただくため、袖ヶ浦工場、根岸工場、千住テクノステーションにおいて施設見学会を実施しました。

工場では、構内の見学に加え、液化天然ガスの冷熱（-162℃）実験をご覧いただきました。また、テクノステーションでは、最新のエネルギー利用技術を取り入れたモデルハウスや燃料電池自動車へ水素を供給する水素ステーションをご覧いただくとともに、燃料電池自動車の試乗にも参加いただきました。



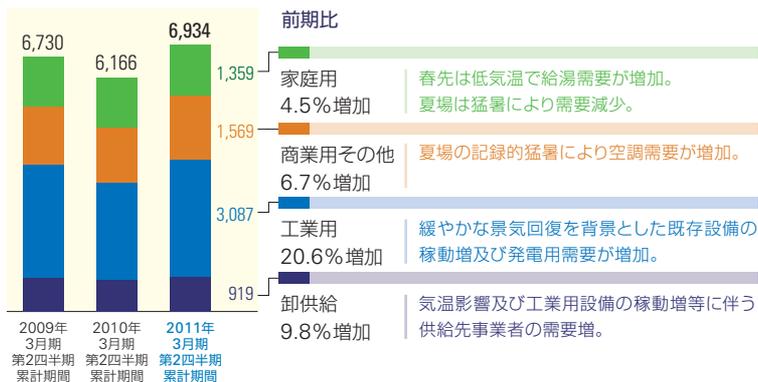
LNG工場の見学（写真右側はガスタンク）

連結決算のご報告

ガス販売実績（連結）

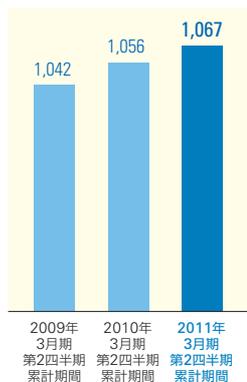
上半期は全ての用途で増加となりました。特に大口の工業用需要の回復がけん引役となり、前年同期比12.4%増加の69億3千万m³となりました。

(百万m³)



お客さま件数（連結）

(万件)



連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間 2010.4.1～2010.9.30	前第2四半期 累計期間 2009.4.1～2009.9.30	増減率 (前年同期比)
売上高	701,322	632,074	11.0%
売上原価	447,160	359,992	24.2%
売上総利益	254,162	272,082	-6.6%
供給販売費	176,786	191,317	-7.6%
一般管理費	29,315	34,320	-14.6%
営業利益	48,059	46,444	3.5%
経常利益	45,869	50,594	-9.3%
純利益	25,569	32,743	-21.9%

売上高の693億円の増加は、ガス販売量の12.4%増加および原料費調整制度に基づく料金単価の引き上げに加え、(株)扇島パワーの本格稼働に伴う電力売上増によるものです。

東京ガス個別決算において退職給付数理計算上の差異258億円の負担減があったものの、ガス原材料費が原油高の影響により760億円増加したこと等により、営業費用は増加しました。この結果、営業利益は480億円となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

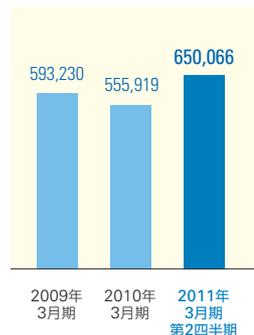
(資産の部)	当第2四半期末 2010.9.30	前期末 2010.3.31	増減額 (前期末比)
固定資産	1,410,180	1,405,178	5,002
有形固定資産	1,127,646	1,108,843	18,803
無形固定資産	37,840	27,977	9,863
投資その他の資産	244,692	268,357	-23,665
流動資産	388,400	435,794	-47,394
資産合計	1,798,580	1,840,972	-42,392

(株) 扇島パワーの新規連結による有形固定資産残高の増加等があったものの、受取手形及び売掛金残高の減少等（流動資産の減少）により、総資産は424億円減少しました。

有利子負債はコマーシャル・ペーパーの発行等により、941億円の増加となりました。

有利子負債残高

(百万円)



(単位：百万円)

(負債の部)	当第2四半期末 2010.9.30	前期末 2010.3.31	増減額 (前期末比)
固定負債	683,023	654,319	28,704
流動負債	296,933	360,362	-63,429
負債合計	979,956	1,014,681	-34,725
(純資産の部)			
株主資本	802,432	799,310	3,122
評価・換算差額等	1,422	14,575	-13,153
少数株主持分	14,769	12,404	2,365
純資産合計	818,624	826,291	-7,667
負債純資産合計	1,798,580	1,840,972	-42,392

純資産は、四半期純利益の計上(255億円)の半面、剰余金の配当(134億円)、自己株式の取得(80億円)、有価証券評価差額金残高の減少(69億円)等により、減少しました。しかし、総資産の減少率が大きかった結果、自己資本比率は44.7%と0.5ポイント上昇しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間 2010.4.1～2010.9.30	前第2四半期 累計期間 2009.4.1～2009.9.30	増減額 (前年同期比)
営業活動によるCF	10,608	146,381	-135,773
投資活動によるCF	-119,204	-82,544	-36,660
財務活動によるCF	68,781	-48,813	117,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,216	80,645	-9,429

CF = キャッシュ・フロー

経営指標

	当第2四半期 累計期間 2010.4.1～2010.9.30	前第2四半期 累計期間 2009.4.1～2009.9.30	
ROE	3.2%	4.2%	[当期純利益 ÷ 自己資本 (期首・期末平均)]
ROA	1.4%	1.9%	[当期純利益 ÷ 総資産 (期首・期末平均)]

	当第2四半期末 2010.9.30	前期末 2010.3.31	
自己資本比率	44.7%	44.2%	[自己資本 (期末) ÷ 総資産 (期末)]
D/E レシオ	0.81	0.68	[有利子負債 (期末) ÷ 株主資本 (期末)]

より詳細な財務情報をご希望の方は、東京ガスホームページに掲載している決算短信をご利用ください。

 http://www.tokyo-gas.co.jp/IR/library/earn_j.html

会社情報 (2010年9月30日現在)

会社概要

商号	東京瓦斯株式会社
本社所在地	〒105-8527 東京都港区海岸1-5-20
創立	1885(明治18)年10月1日
従業員数	7,758人(連結16,138人)

注：従業員数は常勤の就業数を記載しており、出向者及び臨時従業員を含みません。

格付け	AA+ (R&I：格付投資情報センター) Aa1 (ムーディーズ) AA (スタンダード&プアーズ)
-----	--

連結子会社 62社
持分法適用関連会社 4社

取締役および監査役

取締役会長	取締役 鳥原 光憲	常勤監査役	高桑 康典
取締役副会長	大谷 勉		森 邦弘
前田 忠昭	広瀬 道明	社外監査役	森 昭治
代表取締役社長 (社長執行役員)	板沢 幹雄		増田 幸央
岡本 毅	本社取締役 本田 勝彦		大澤 正之
代表取締役 (副社長執行役員)	稲田 早苗		
村木 茂	佐藤 行雄		
蟹沢 俊行			

執行役員

副社長執行役員	青沼 光一	小林 裕明
林 洋和	救仁郷 豊	田邊 義博
常務執行役員	執行役員	村関 不三夫
星野 則和	前川 耀男	内田 高史
吉野 和雄	三神 正博	荒井 英昭
渡辺 尚生	久保田 宏明	安岡 省
福本 学	高橋 秀文	
幡場 松彦	尾花 秀章	

株式の状況

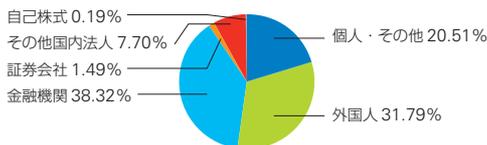
資本金	141,844,398,888円
発行可能株式総数	6,500,000,000株
発行済株式の総数	2,684,193,295株
株主数	153,580名

大株主

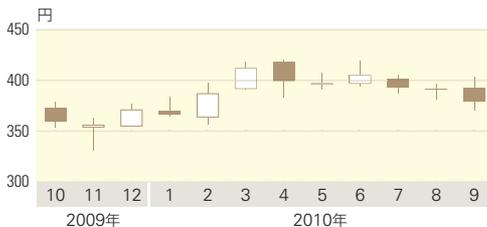
株主名	持株比率(%)	持株数(千株)
日本生命保険相互会社	6.08	163,000
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5.35	143,362
第一生命保険株式会社	4.50	120,472
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3.93	105,329
富国生命保険相互会社	2.56	68,504
東京瓦斯グループ従業員持株会	1.60	42,763
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	1.38	36,964
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託		
第一生命保険口再信託受託者資産管理		
サービス信託銀行株式会社	1.32	35,490
ステートストリートバンク アンド		
トラストカンパニー 505225	1.12	29,913
三菱商事株式会社	1.04	27,959

注：持株比率は自己株式(5,132,105株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移 (東京証券取引所)





すずちゅう
「涼厨®」⇒P6

厨房空間の暑さを解消する最新の業務用厨房機器で、空調負荷が軽減され省エネ、CO₂削減にも貢献することができます。回転釜、フライヤ、台付コンロ、高速オーブンなど機器のラインナップも豊富です。

すずちゅう
「涼厨®」は大阪ガス（株）の登録商標です。



炊飯器



高速オーブン

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日、中間配当：毎年9月30日
証券コード	9531
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
郵便物送付先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行われる際には、添付資料としてご利用いただけますので大切に保管して下さい。（本年より、配当金領収証で配当をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させて頂いております。）

ただし、株式数比例配分方式で配当をお受取りの株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等で行われるため、確定申告時の添付資料に関するお問合せは、お取引の証券会社にお願い致します。

株式に関するお問い合わせ先

株式に関する各種手続は、お取引の証券会社でのお取扱いとなります。

なお、保有株式が特別口座で管理されている場合は、特別口座管理機関の中央三井信託銀行株式会社でのお取扱いとなります。[TEL 0120-78-2031（受付時間：平日9:00-17:00）]

東京ガス株式会社



<http://www.tokyo-gas.co.jp/>

東京ガス通信に関するお問い合わせ

TEL 03-5400-3888 IR部IR室

株式その他のお問い合わせ

TEL 03-5400-3894 総務部総務グループ

この冊子は、社内での使用済み文書、管理された植林材および再・未利用材を原料とした「東京ガス循環再生紙」と、有機溶剤の少ない大豆油インクを使用して印刷しています。

